

陳蔚主任

月廿六日送行

獨取衛生部古語課第二復員會

綜合調查調查書

253

受

元山龍宮

配 運

現作所

等 戔
整 茂

時投藥
普與器

天

名
人錄

Figure 1

所轄
署
氏

疾

人海

本壽地

区分

卷之四

10

歌

150

卷之五

100

The first time I saw a person with AIDS, I was in a hospital in the Bronx, New York, in 1982. I was a medical student, and I was assigned to a patient who had a rare and mysterious illness. The patient was a young man, and he was very thin. He had a fever, and he had lost a lot of weight. He had a cough, and he had a rash. The doctors were puzzled. They couldn't figure out what was wrong with him. I was assigned to take care of him, and I was the only one who was allowed to see him. I was the only one who was allowed to touch him. I was the only one who was allowed to be with him. I was the only one who was allowed to love him.



病死

110-2142

冠山室

年得祿中

卷之五

部隊(艘)状況

本人は両親など叔母が有る苦鬼常と有る不遇である。

長崎縣

元弘其地に於て
年竹原中道に於て
成防備前員とて
松原中の兵を
内に於て下さる銀
料も奢んで希死
した



舞鶴復ニ第七號の二〇

昭和二十三年十一月五日

舞鶴引揚援護局復員部第二復員課長

各地方復員殘務處理部復員業務課長殿

死没者に関する件通知(第二八號)

左記は「ナボトカ」より舞鶴に飯還した各頭書の者の申告によるものである。

記

申告者	等級	氏名	飯	御	先
元特報	二屯	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
元特報	一水	名 氏 分 病 名	病 死	本 籍 地	記 事
		病 死	昭和二十三年十一月五日		死後火葬した

邦·海

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(※表裏二面の各欄は記載に及びません)

6822

現

事發備部隊時

陸軍二等兵

一、此七等兵

二、此七等兵

三、此七等兵

四、此七等兵

西和子年八月十八日、事發備部隊主計隊、バリンヨリ、サキヨリ、
万西移動、途、サハカ、河、ロ、イ、オ、イ、沖、ニ、チ、系、親、頭、覆、シ、
ト、摩、死、セ、リ、

右現認

西和子年八月十八日

事發備部隊時、海軍主計大尉

佐佐木

死之の場所於 鹿児島縣 中瀬 墓地

死之時の状況

昭和二十一年八月十九日午後一時頃

死之時の状況 被爆者中 爆死を蒙り 三月六日 死亡 昭和二十一年八月十九日

右の通り 昭和二十一年八月十九日 申告 致し ます

昭和二十一年 八月十九日

中 入 籍 等 級 上 二 乙 大 五

在 籍 地

現 住 所

所 属 部 隊

第 三 十 一 兵 隊 隊

本 部 署 は 被 爆 者 の 身 上 関 係 一 切 を 処 理 す べ き 事 だ け り ます 所 が 慎重 に 且 つ 詳細 に 記 入 し て 下 さ い
他 人 か ら 聞 い て 承 知 し た 事 項 其 の 他 参 考 と な る べ き 資 料 は 其 の 旨 付 録 水 記 入 下 さ い

22年 1356

戦死確認証

本籍現住所

氏名 故海軍少尉

戦死年月日 昭和三年八月二十日

戦死状況 当方着回日午後三時三十分頃防空壕に潜

伏中自衛小銃弾数発を全身に受り命中
即死と見られ確認

戦死確認年月日 昭和三年八月二十日

元神砲隊軍根拠地隊(運送隊)

第二小隊長

本籍現住所 本籍現住所 二回

昭和四年十二月

サ



舞後連第二號カニニ

昭和三十三年一月十四日

舞鶴上陸地連絡所長

各復務処理部復員業務課長殿

死歿者に関する件 通知(第一号第)

左記は「アホ」より舞鶴に返還した各頭番の者の申告によるものである。

記

甲種者	乙種者	丙種者	丁種者	戊種者	己種者	庚種者	辛種者	壬種者	癸種者
等級	等級	等級	等級	等級	等級	等級	等級	等級	等級
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢
籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考			

第一特記(不明な全戸(家)を)

死と現認せる旨の申立書

死没者の元の身分等知

大湊海軍施設部樺太才二二部隊

元軍属

私は [] 君と一緒に昭和二十年乙種軍属として白紙徴用され

大湊海軍施設部樺太才二二部隊は軍属として昭和二十年六月一日

伊那港同月五日樺太大泊着同地に於て約一ヶ月半飛行場拓削庫

作りに就きし七月十七日より [] 分遣隊として [] に於て

作業に従事し八月十五日終戦となり予に於て十七日同地を八月十八日

大泊着八月二十日夕方大泊港横浜之向う海軍貨物船に乗船し

出港致し予に於て八月二十二日朝五時頃留萌西海岸に於て敵潜水艦

三隻の攻撃を受け同君は同地に於て死に致した事と現認致し予に

その時に [] 君ともう一人 [] 女身 [] (当時二十九歳)が死に

言

部

守

天 者 月

等でありすが、その他の人達は無事帰還致した

の分遣隊長は海軍嘱託の といふ方である

還す時の船の乗組員は主に 自身の海軍の兵隊であったよう

に記憶し居ります

右事情の審議の上同君の死に告知書を發令せらるようお取計

願いたく右申し立て致します

昭和三十四年四月六日

元大湊海軍施設部樺太第二部隊軍属

現住所

調査員

調査主任

佐賀県

不籍地

現在所

所居部

入籍年月日

年齢

性別

新到検査

検査結果

同

十根

一五六一〇

上

六八・二五

六九・六

不明

昭和二十年八月廿二日頃

胸部貫通

共産歴と交戦中

共産歴と交戦中 房兵少く大敵を撃退せしゆ彈藥が尽きた
数回撃たれ共産歴は依然反撃しつゝ自衛小銃の猛射を食ひ
胸部に貫通即死（共産子三三様銃二挺）

右

腰 役

門司

シンガポール

水 糸



2871

昭
二〇八二二
時刻不明

所近

曹

十同
根右

採石場所 (ホーキスト) 附近のゴム林中に於て

654

死歿者調書

死亡狀況(詳細¹²記入のこと)

卷之五

申 告 者

本籍地	現住所	官等氏名	所属部隊名
[Redacted]	左	二 曹 [Redacted]	十 騎 根

右に誤りないことを證明します

昭和五年四月十日

申告者氏名

[Redacted]

印

右由告又

昭和二十一年一月七日

告示		本署地	現任所	所屬部隊	氏名
吳鎮七將陸		官等親		全籍番號	

備考

本署、部隊長又、殘務取扱者等、於吳地方復員局人事部長宛通報、非、認、付記載、
吳鎮七將陸、持務官、准、下、付記載、
同村縣人、勿論、他村縣出身者、就、記載、
知得、範圍、於、出、得、限、詳細、記載、
送付先

吳地方復員局人事部長宛

504-10

4670

死 者 訓 書

本籍地

[Redacted]

現住所

所屬部隊

第三十師別根據地隊

入隊日

現役

兵種

兵科

留年級上

中

三年四月

[Redacted]

入隊番号

門部隊在籍年月日

谷本組一ノ子昭太郎 七月二日

離別年月日

音田中隊員一ノ子 (谷本隊没後)

勤務概要

年功俸年月日

五 年

功賞概況

マラウア

功賞概況

戦病死

生年月日

昭和二十一年八月二十日

時刻不明

右申書ス

(主簿) 市人直持(佐藤)

昭和二十一年八月

月二十七日



428

班住所	右	月
所属部隊	第三特別機務隊	官 兵 又
氏 名	[Redacted]	一 中
	入 隊 者 数	[Redacted]

備考

- (一) 本調書ハ部隊長スハ各等隊員等モテ後自他人事部長宛通報スベキ事有之
- (二) 知得シタスト記ムルモノミ付記ス
- (三) 吳鎮在籍ノ特務士官以下ニ限テ付記ス
- (四) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者モ凡ソテモ記載ス
- (五) 知得シタル範圍ニ於テ調査セザリ詳細ニ記載ス
- (六) 他人ヨリタテテ知シタル事項ハ各該隊員ニ相テガタリ記載ス

死哭者調書

116

死亡の場所 高雄海兵團大岡山派遣隊

死亡年月日 昭和二十年八月二十五日 時刻不明

死亡時の状況

石の通り 承知してゐるから申さずして

昭和二十年四月三十日

申入籍番号 第級海軍中尉氏名

本籍地

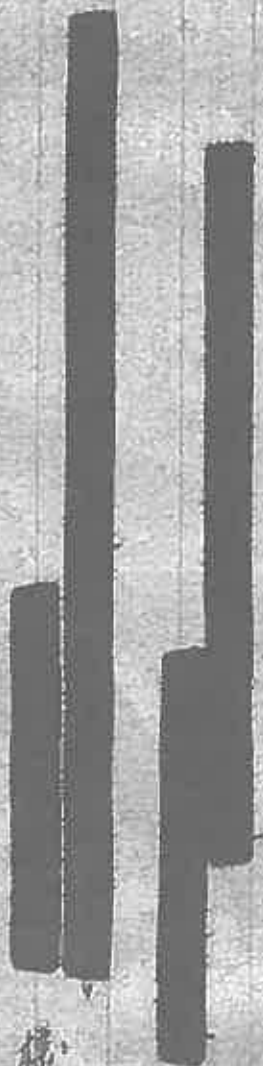
者現住所

の所属部隊 高雄海兵團附

備考

一 本調書は死没者の身上関係一切を処置するものとして、今般
一 遺言は其の詳細は記入して下され
一 他人が中絶して承知した事蹟、其の他家者より下され、
一 旨は細かく記入して下さい

當時ノ軍ノ指揮下ニ在リタル遠族ハ遠隔西ノ谷ハ同
 病院ニ集結シタル埋葬シタル屍も亦、考リ、あり、左ノ片小光
 ハシヘー中ハ此致カキナリ、報老モ非テ、以テ之ヲ中ノ親
 族ノ中々中ニ推察申上ル、恐ル、無量ハ中ニ座リ、
 何年ノ報老ニ致カキ、先ハ此天中ノ用ニ據下ニ、
 年様。



様

7

大分縣

死亡番号

六二六四

20	戦歿年月日
8	刻
26	戦場
病死(元山)	所歿
病死	区
死	分歿本
	籍
無	遺骨有
一	官(職)
水	氏
	名

申告者

元山特根

上水

佐世保地方復員残務處理部

死 亡 認 証 明 書

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 資 料												
死 亡 知 っ た 方 法	遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	死 亡 諸 元					死 亡 日 時	死 亡 場 所	死 亡 日 時	現 住 所	本 籍 地	所 属 隊 称	所 属 固 有 通 称
			死 亡 区 分	発 病 時	傷 病 名	死 亡 場 所	死 亡 日 時							
射 殺 され 事 実 を 現 場 で 確 認 し た			戦 死		ソ 連 兵 に 射 殺 され た	元 山 一 興 南 の 間 (大 々 原 川 の 手 前)	昭 和 20 年 2 月 午 前 5 時 30 分		内 全 縣 府 道 都		右		元 山 親 望 隊	
死 亡 者 と の 関 係														
全 部 隊 員 本 人 を 長 く 知 っ て い る														
所 住 現 所	元 山 親 望 隊													
隊 部 属 所	元 山 親 望 隊													
名 氏 級 階	上 等 陸 兵													
死亡当時の状況及び参考資料 武 解 受 け て 興 南 に 向 け 行 軍 途 中 本 人 は 下 痢 を し て 排 便 し よ う と し て 隊 位 を 离 れ た 時 見 張 の ソ 連 兵 が 逃 ぐ と 誤 認 し て 射 殺 され た 私 は 本 人 が 射 殺 され た 事 実 を 現 場 で 見 証 可 能 だ け 確 認 し た														
死亡当時の状況及び参考資料 続 柄 (妻) 年 月 日 生														

裏面記載上の注意を見て書き下す (※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞いて下さい)

死 亡 現 確 (確) 認 証 明 書

者供提料資		料 資 の 者 亡 死										
法方たつ知を亡死 射殺されたる事、実を現 場で確認した	遺留品の 処理の	遺骨及び遺 物の処理	元 諸 亡 死				区 分	留守担当者の 住所	本籍地	所属 部隊 通称	所屬 國有 元山航空隊	
			死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所						死亡日時
			戦死		ノ連兵に射殺された	元山—興南の間(大きな川) (のち前)	昭20.8.27. 午前5時30分	全 (縣府道都)	[REDACTED]	[REDACTED]	關所部補	
係關のと者亡死 全部隊が本人を 良く知っている。			※甲	※	※甲	※甲	容 度	右			面局区地 ※	
隊部属所 元山航空隊	所住現 [REDACTED]		死亡当時の状況及び参考資料 武解を受けて興南に向け行軍途中本人は不意として排便しようとして隊伍を離れた時見張りの連兵が逃亡と誤認して射殺された。 私は本人が射殺された事実を現場で見ることが近付けなかった。						兵種 整備兵	役職 上等兵	死亡時の階級 整備兵 上等兵	
氏親階 上等整備兵									留守担当者 [REDACTED]	年 [REDACTED]	月 [REDACTED]	日生 [REDACTED]

卷一

死者調書

21 8 2

月

Figure 1

本籍地

遷居住所及蔬圃

所屬部

殺種

官
等
級

歡迎到春年日

翻筋一紙要

愛傷登瀛二年自

受傷部病名

笑翁(墨齋)父

同(五)

新鑄成鏡面頭元山海軍辦字號

現役兵種航空兵系

二
整
書

和名 二月

特設 戰 兵裝及練習訓練 (能稱作業)

露花航校

元正年四月...

西和二十八年八月二十九日 現以航校...

記 事

西和二十八年八月二十九日 現以航校...

右 申 案 大

昭和二十一年 八月 三日

申 本 籍 地	右 同 司	入 籍 番 号
皆 取 郷 先	朝鮮 咸鏡北道 海軍航空隊 官 曹 級 二 生 曹	
者 所 屬 部 隊		
人 氏		

終

82

6532

死亡年月日 昭和十一年九月二十四日
 死亡場所 朝鮮京城府 延禧宮 御膳房
 戦死 戦死
 戦死の状況 朝鮮京城府 延禧宮 御膳房 戦死
 右の通り承知してめまされ申上致します

申入籍名	等 記 年 表 八 名
本籍地	
現住所	
所属部隊	朝鮮京城府南道元山府 憲兵連隊 空隊

備考

一 本籍書ハ死没者の身上関係一切を處理するものであるから慎重に
 其詳細に記入して下さり
 二 他人から聞いて承知した事項ハ其の旨未尾餘白に記入して下さい

通達

昭和十一年九月二十四日

昭和二十一年四月十九日

舞鶴上陸地連絡所長

名優殘務處理部 復興業務課長殿

死歿者元閏才子并通知（等辦）

左記はナホトカより舞鶴に販運した各頭書の者の申告によるものである。

記

等 級 氏

名

叔

鄭

九

老山空一主

華嚴

五

正元
分設

病者

死之年
自

世宗

此

卷四

地

呢

二、三、四、五



病死

急
性

29

留聲

100

1

昭和二十一年八月三十一日

死者調書

本籍地

現住所

所属部隊

入団年月

等級

内地港

出港年月日

勤務概要

発病年月日

病名

発病時

死年月日時刻

死場所

右

元特別根據地隊(三島隊)

壬午月入隊

役種 召(国民兵)

兵種 水兵科

一水

氏名 〇〇〇
生年月日 〇〇/〇〇/〇〇
籍地 〇〇

羅津

羅津から元山へ移動して二三日して発病入室

昭和二十年七月二十五日

赤痢

元根病室入室後、即ち航空隊に転入した。航空隊病室に転入後、食料不足のため、食料を奪取した。昭和二十年八月三十日午後六時、元山女学校(假収束所)で死亡した。

昭和二十年八月三十日午後六時

元山女学校(假収束所)

死と分 葬死

佐世保地方復興局

死時の状況

元山女学校収容所には医療施設もなく遂に死す。死後頭髪を切り

遺髪とし所持。死体はソ連側に托した後富野へ向け出発す。

右の通り承知してありますから申上致します。

昭和二十四年十月十三日

申告者の
入籍番号

等級 兵曹長 氏名印

本籍地

現住所

左

所属部隊

元山特別根拠地隊 (オニム隊先任下官)

復員年月日

昭和二十四年十月十一日

備考 遺髪は上陸地(舞鶴)で係員に渡し、在留所に保管置いた

43865

死後有親書

本籍地	[REDACTED]		
現任所	同		
所屬部隊	香港特別根據地隊付第一〇七震洋隊		
入隊年月	昭和十八年五月	役種	飛行兵
官等級	軍飛裝重	氏名	[REDACTED]
附記香港戰年月日	昭和二十年二月三日	入籍番号	[REDACTED]
勤務概要	④ 艇路策員トシテ香港地區南丁島ニ基地ヲ 設置シ香港地區ノ警備ニ服務セリ。		
獎勵(受給)年月日	昭和二十年八月三十日	腹部及腹部	爆彈ニ片創
病名(受給)年月日	⑤ 艇整備中英國飛行機ノ爆彈ニ依リ戦死ス 昭和二十年八月三十日午後一時南丁島		
死年月日(行方不明)	昭和二十年八月三十日午後一時南丁島		

七

昭和二十一年四月二十三日

本籍地

現住所

所屬部隊

氏名

石岡

香港特別行政區
（七）香港警察

[Redacted]

官等級

入籍番号

中尉

[Redacted]

備考

- (一) 本調書ハ部隊長又ハ強要取扱者等其心ヲ復員局全軍部長宛通報スベキ責任者ナリ知得タル者ハ認ムルニ付記載ス
- (二) 吳鎮在籍ノ特務士官准士官下官兵ニ付記載ス
- (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
- (四) 知得タル範圍ニ於テ未ダ得テ限リ詳細ニ記載ス
- (五) 他人ヨリ聞キテ知タル事項ハ各當該欄ニ相手方ヨリ記載ス

張

1057
177

陳子昂集卷之六

魂佳所

香同

新編

不明

入園生

等綴

輩亦矣

fat 53

金

天啓初年

月 日

1957-1958

德系

死亡番子
X052

卷之四

和子年 自二十日頃

卷之六

鍾蔭生亦一

15

卷之六 詩集 卷之六 詩集

二年八月

此二時分狀况

入籍番科
石川
番百七十九
婦病院附

入籍番科

現任所

新居部

前寄

一、不備書付一七番、平山、角原、一切不處置、
慎重、不備、詳報、に、
一、他人、
一、
一、

2月6日

福岡

縣

現病入癒後部係

死後者調書

本籍地	死後者調書
現住所	全石
所属部隊	石原島野商隊
入團年月日	二〇一四
等級	上等兵
内地陸海空軍	陸軍
外陸海空軍	陸軍
勤務概要	石原島野商隊中一ノリヤ二四四二〇、九三 戦病死遺骨は由良殿ニ一ノリヤ二〇、一ニ付ま 推定約同地方世叔の保護中 ノリヤ
発病年月日	ノリヤ
病入癒後部係	ノリヤ

112

6776

6541

明治七年 月 日

二〇・九・三

死亡時の状況

経致ありきりやに附し病中

右の通り承知しておますから申告致しませう

昭和 年 月 日

申告者

少尉 等 級

氏名

本籍地

現住所

所属部隊

石川県警備隊 第 隊 第 隊

備考

一 本報告書は死因者の身上関係一切を処理するものであり、慎重に且つ詳細記入して下さい

二 他人から聞いた承知した事項、其の他参考となるべき資料はあ

一 旨末尾餘白に記入して下さい

お遺骨は初回死方世に送られ、安置中の處、公認死としてあり、公報も発表しあらず、あるに誤解死として取扱はるべきものでござい、至急手続を相願ふ

初回死方世

一 死に際し、死後、死

死

舞鶴上陸地連絡所表

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（第 號）

左記は、ナホトカより、群鶴に歌還した各頭書の者の申告によるものである。

信

遺愛發送者

先

53

死没者調書

本籍地

現在所

所属部隊

死没年月日

兵長

氏名

飛行機 通信隊 整備二班

勤務地

熊木

昭和二年九月廿九日午後九時三十分
日蓮軍飛艇 機中 左方夕へ 運り又り
夕念う 消え難き 就寢 迄後 (幕舎内)

死七
年
日
受釋後出血多墨才平分恒口後死七

右の通承知して
カ
王すかう用舟致しませ

昭和二年 四月

名氏



本籍地

11

4

著觀性所
卷全

金

所屬縣 海寧 九日 航寧陽

海軍力九一航空隊

備考

一本調書は死後者の身上に隨從一切を處置するものであ

且其詳細記入

六他人之開受承知一事項以其之智察原由自新入之

昭和二十年九月一日
 熱帯熱マラリア
 昭和二十年九月一日
 熱帯熱マラリア
 昭和二十年九月一日
 熱帯熱マラリア

優良

不明

甲属

生氏 昭



生氏 昭

昭和二十年九月一日
 熱帯熱マラリア
 昭和二十年九月一日
 熱帯熱マラリア
 昭和二十年九月一日
 熱帯熱マラリア

昭和二十年九月一日

昭和二十年九月一日

昭和二十年九月一日

昭和二十年九月一日

昭和二十年九月一日

臺北州七星郡第一區南雅街第一分區

右由告

和二十 上 日 四

籍地

取鄉先

所屬部隊

氏名

高振司令

[Redacted]

官等 叙 悔 年 規 附

入籍番号

一、知得...範圍...於...出表...限...詳細...記載...
二、他人...聞...承...知...事項...各當...別...相...
三、記載...置...
四、...

受德...

...

...

...

...

...

平年九月二十日...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

109

109

此家共計
高松多分
高松凡其分所無不家

石田
田
田

昭和二十一年三月

公籍地

取郷先
右同

所屬部隊
高根司令部

氏名

[Redacted Name]

入籍番

定年級
海軍大尉

備考

如得て元新田ニ於ニ生来存限リ詳細ニ記載ニ

一、個人ヨリ聞テ承知ニ事項ハ各當利權ニ相手ナリ

記載ニ通シ

109-10

行在元祐

10

覽藏(聖德)無日

癸卯年九月十日

病名(齋)部

卷之六

王叔微傳不識符號

喜舍家產子孫之心無量功德

光緒元年正月

九月甲午年八月廿五日

右

告
不
司
九
五
十
七
知
下

昭和二十二年七月 日

本籍地

歸鄉地

所屬部隊

氏名

朝野元山五言詩集

官軍

卷之五

登錄號

本
籍
地

五
往
所

所
知
部
分

大國圖
卷四
年
月

221

萬曆

卷之四

三
三
三
三
三

香

2008年12月15日

100

AE

我

五

504

29

朝鮮元山海軍航空隊第十四分隊機銃班

一水

20.
6-8
6.

20
6
11

不

20.
10
8

後

縣名

三

論

1998

死亡年月日 20. 10. 8 死亡の場所 朝鮮 咸興 死亡の経緯 戦死

死亡時の状況 軍需兵ニ依リ銃殺即死

遺体の取り扱い 遺体は発見してゐますから申渡おします。

入籍の通知 年月日

入籍の通知 姓名 田中 一 氏名印

住所 在 右ニ全ジ

所属部隊 元山海軍航空隊

備考

本隊に無死戦死の報告あり一切を調査す。遺体は発見しおるが死因は不明にして下さい。

二人から聞いてお知した。は其の旨未だ報告に届かして下さる。

昭和二十年十月八日 田中 一 氏名印

[illegible]

死 殺 卷 類 書

今籍地

生籍住所及統制

右

同

所屬部隊

永興漢要務司令部第二分隊

要

役種

兵種

官等級

上等水兵

入籍番號 不明

戰地到番年月日

不明

勤務概要

不明

受傷要略年月日

不明

受傷部(病名)

細菌性赤痢

受傷原因及概

朝鮮三於大東亞戰爭從軍中細菌性赤痢三罹一歲興

死時、狀、
記

第百七十九名、病院、
昭和二十年十月、
遺、
遺、

右中、

昭和二十一年、九月、

、
氏、

、

、

、

生存者 戦死者 確認報告

報告者ノ當時ノ所轄(部隊名)

一二駆隊

報告者ノ官職氏名(電報符入籍番號)

機曹長

報告者ノ本籍地及ビ現住所

所轄官職氏名

名

電報符又ハ入籍番號

出身地

生存者又ハ戦歿区分

年月日

場所

現住所

状況

状況

状況

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

二等小尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

補中尉

一等

一等

一等

一等

一等

一等

一等

一等

一等

一等

一等

一等

一等

一等

農村隊長たりし者
米村に於て半島人に殺
され

死没者調査書

本籍地

遺族住所及疎隔

所屬部隊

役種

官等級

戰死到属年月日

勤務概要

受傷經過年月日

受傷部所及

受傷原因及

右 月

元山空

國民兵役

二 水

昭和二十年五月三十日

配置 砲台員

昭和二十年十月十日

急性肺炎

不明

死時、狀派

聖恩、賜別封

記 事

右 中 告 又

昭和三年十一月十三日

昭和三年十月二十日一一〇〇。朝鮮京城道、興南府、天枝里

道、常夜寺、遺品、十二。死時、無病、或、病、滿、遺、興南府、天枝里、附近、山、二、増、築、セリ

由本籍地

告 取 印 花

者 所 屬 部 隊

氏 名

元 山 空

身 等 級 二 水

入 籍 番 号

終

山崎 幸三郎

明治三十二年八月
山崎 幸三郎

明治三十二年八月
山崎 幸三郎

明治三十二年八月

明治三十二年八月
山崎 幸三郎

明治三十二年八月

明治三十二年八月
山崎 幸三郎

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

明治三十二年八月

後集 卷之七 七

昭統三年四月



第一樓員司錢務處糧部
舞鶴非楊煥發司錢員部常二樓員課長

各地商會殘務處理部復興業務課長殿

死後者に関する件通知（第1部）

左記は、テホトカより舞鶴に飯送した各頭書の苦申告によるものである。

五

[illegible]

本籍地	同
現住所	同
所屬部隊	高雄海兵團
自來月	昭和二十年三月
實年組	氏名
向來學業	不明
戰地到着年月日	不明
勤務概要	補給部上子高同前在隊勤務中
受傷年月日	昭和二十年十月下旬
病名受傷部位	左足中足指起第三、四、五趾
受傷經過	戰時狀況
治療時狀況	昭和二十年十一月十四日一四三〇分高雄海軍

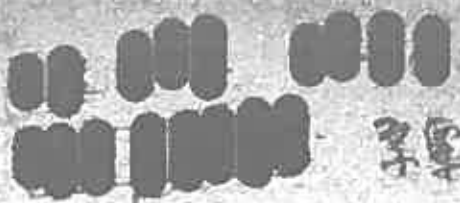
右中一書又 補就國山本院二部一覽上
昭和三年 二月廿三日

中	本籍地	
西	现住地	高三河
事	所属部隊	高祖陸兵團
氏名		高祖陸兵團

48504

69356

575



李軍在

以下之人員係屬軍中已故人員

免役者

20.7.18
20.8.1 投
88

本職	現任	所屬部隊	入國年月	目録級	內務院出放年月日	外務部到任年月日	職務人職等	職務(受給)年月日	姓名(受給地位)
	本籍地ニ在リ	不明		生年月日	不明	不明	不明	昭和七年十月二十日	溫性助膳美奈榮泰夫調任
				兵和					昭和七年十月二十日
				海軍					昭和七年十月二十日

②

書 明 證 認 現 確 亡



邦・海・陸

資 料 提 供 者		死 亡 者										死 亡 時 所		死 亡 時 所		死 亡 時 所		死 亡 時 所		死 亡 時 所	
法 方 た つ 知 を 亡 死		遺 留 品 の 処 理		死 亡 事 由 (傷 病 名)		死 亡 場 所		死 亡 日 時		死 亡 区 分		死 亡 場 所		死 亡 時 期		死 亡 時 期		死 亡 時 期		死 亡 時 期	
現 認		現 認		現 認		現 認		現 認		現 認		現 認		現 認		現 認		現 認		現 認	
係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死		係 関 の と 者 亡 死	
所 住 現		所 住 現		所 住 現		所 住 現		所 住 現		所 住 現		所 住 現		所 住 現		所 住 現		所 住 現		所 住 現	
所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)		所 属 (所 轄)	
部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職		部 隊 又 は 職	
通 称		通 称		通 称		通 称		通 称		通 称		通 称		通 称		通 称		通 称		通 称	
面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地		面 局 区 地	
種 兵		種 兵		種 兵		種 兵		種 兵		種 兵		種 兵		種 兵		種 兵		種 兵		種 兵	
種 役		種 役		種 役		種 役		種 役		種 役		種 役		種 役		種 役		種 役		種 役	
名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏	
年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生		年 月 日 生	
女		女		女		女		女		女		女		女		女		女		女	
男		男		男		男		男		男		男		男		男		男		男	

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

在入第...
...

死没者調査

本籍地	現住所	所属部隊	入國年月日	等	内地滞在年月日	外地滞在年月日	勤務の概要	備考
		前上海海軍航空隊		海軍第二等兵曹	昭和三年四月七日	不明	佐世保海軍航空隊	...
		第一補充隊		第一補充隊		不明	佐世保海軍航空隊	...
		無種		入籍番号				...

死亡年月日 昭和十五年十一月十八日
 死亡場所 新加坡
 死時状況 昭和十五年十一月十八日午後一時、在英領事館前、因患急病、突然死亡。死後、由英領事館派員、將其遺體、運回日本。其死因、經英領事館派員、調查、結果、係因患急病、突然死亡。其死後、由英領事館派員、將其遺體、運回日本。其死因、經英領事館派員、調查、結果、係因患急病、突然死亡。

右の通承知して、おまへらの申す通り、ます

昭和十五年十一月十七日

申請番号 海軍三等兵 石

本籍地

現住所

所属部隊 新加坡海軍航空隊

右の通り、昭和十五年十一月十八日、在英領事館前、因患急病、突然死亡。死後、由英領事館派員、將其遺體、運回日本。其死因、經英領事館派員、調查、結果、係因患急病、突然死亡。

備考

一本調書は、死後者の、死亡関係一切を處理するもの、である。

且、詳細に記入し、下さい

他人の関して承知し、其の旨、不展、余白に記入し、下さい

由本藤

齊國遷茅二疏，六五

昭和二十二年五月二十一日

奔騰上陸地連谷所長

各地方官員人事部長殿
閣係教習民臣郭某臣結撰長殿

死之者六閔主子保通如(第)(章)

左記は「すゝめ」カエリ五月十八日、岸陽に飯巻の米丸を返還し、大谷照雪、大谷の
中喜に「すゝめ」カエリ

記

解

元

[illegible]

陸軍三
失
唐九章卷三
七
同治

6571

戦傷死没記録資料

一 申告者

[Redacted]

海軍兵曹

入部番号

一 現住所

[Redacted]

一 戦傷死

海軍陸戦隊

[Redacted]

[Redacted]

一 本籍地

[Redacted]

一 遺族氏名

遺族氏

[Redacted]

一 戦傷死年月日時

昭和七年十一月二十三日

一 病名

一 戦場

オランダ島バリスノパンススノ島

一 所属部隊

三八一戦隊(東部)

一 戦傷死の経緯

特務隊

戦傷死當時の状況

昭和七年十一月二十三日戦場オランダ島バリスノパンススノ島戦死

海軍

死亡年月日

昭和二年

九月七日

巴トバカリ

五分

死時状況

英軍作業者、ロウヤン作業者、白の森、松島、中、機雷（海水中）に觸
れ沈没し、五分の一の早時救助機、中、海軍病院、救急隊、全五名死亡

右の通承知して、あつた、市若政、一、三、

昭和二年 年十月十一日

申入籍番号

第 級 二等兵

氏名

告本籍地

本籍地、全

者現住所

第七警備隊

の所属部隊

備考

一、本調査は死没者の身上関係一切を處理するものあり、慎重
に且、詳細に記入して下さい

二、他人から聞いて、承知し、事項は其の旨、末、危、余、白、記入して下さい

海軍病院、救急中、知人、り、機雷、觸、電、事、救、助、者、以、外、者、ハ

（五分）全員死亡、事、

124/2

事 業 明 考

昭和二十一年一月十五日

一、昭和二十一年一月

二、昭和二十一年一月

三、昭和二十一年一月

四、昭和二十一年一月

五、昭和二十一年一月

六、昭和二十一年一月

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

昭和二十一年五月二十日

軍

46577

死没者調書

二

12282

485

本籍地	現住所	所属部隊	入籍年月日	官等級	内地渡来年月日	戦地到着年月日	勤務概要
[Redacted]	合 右	比島 特根四大隊一小隊	昭和九年二月一日 役種 一 補 兵種 水兵	海軍二等兵曹 氏名 [Redacted] 生年月日 [Redacted] 入籍 香港 示 洋	昭和九年四月三日 夜吳港出港 昭和九年五月一日 下関出港	昭和九年五月三十日 比島ミンダナオ島タバオ、デガス着	戦地到着時 [Redacted] 部隊ニ所属デガス防衛隊勤務 昭和九年十月以降 [Redacted] 特根四大隊ニ所属デガス防衛隊勤務 昭和三年一月以降 八同大隊一小隊四小隊ノ輕便一審トシテ勤務

考名(受傷) 昭和三年正月二十六日頃(浪員船信濃丸船中) 考名
年月日

考名(受傷) 心臓脚系

考名(受傷) 戦中ノ米倉告調ヨリ来ルモノト思ハレ
戦時状況

昭和三年十一月五日午後三時四十分信濃丸船中(沖繩海軍飛行中)
昭和三年十一月五日

右申告ス

昭和三年十一月三日

本籍地

現住所 今右

所属部隊 三十三特根四大隊一小隊

氏名

入籍番地

官等級 海軍一等兵曹

長崎縣

前畧

佐渡人等六人、五八八に依り、御照會

・件に就き回答致します。

元二七

[Redacted]

[Redacted]

（君は昭和

二十一年四月頃より身体特々衰弱し五月頃

深養失調症と診定され、降内にて加

療中終戦となり、終戦後は食糧事情

極々良好となり、茲に相違ひ深養を

攝取し、漸く恢復し、十月頃四病

に入院、元今より施療を行はれ、遂に

昭和二十一年十一月十日深養失調、為

戦病死致し、一日頃、健康はして

誠實な人、種々勤行し、故人を思ひ

成慨無量なり

終戦後、復員船にて復歸頻繁にし

事務も順調と云ふ、此を第として

整理済と信じて居りまゝ。此今回、御照會
に接し、驚き、復員の日をお待たせ、
御遺族様に申訳なく思ひます。

（私はお母の書類を一つも持て居るが、
唯今承遺の命、日にお供存して居る。其
他の事は詳しき事なく、トラス島、最
終引揚者として返還して、今が東京に
既在隊の残務処理は元主計長と計大
計

（氏）がやゝ事になり、切の書類
（勿論引揚に帰る方も、少量あり）
は同氏が保管して居るが、参考迄に
申添へて置きます。

通信長兼
元主計長

先復残務処理部復員業務課軍人係
御中、

58-10

[illegible]

乾隆七年九月

宣統二年

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

張永福行書

陳九

鼎痛死

元之時の状況

右ノ通り承知ナリ下ノ事可ハク申告致シます

昭和二十一年十一月四日

申入籍券



等級

上等熟男

卷之六

和

告
本籍地



100

1

者
現任所

卷之六

卷二

10

1997

10

新編

高麗

古詩

所屬果

隊

10

前考

一本調査は死後者の身上関係一切を処理するものである。

慎重に且つ詳細に記入して下さい

一他人から聞いたり承知した事項は其の音来を添白に記入して下さい

昭和十九年一月十日 山世三十七号の三回 戦死者の略歴

本籍地	現住所	所属部隊	入國年月	官等級	内地港灣出發年月日	戦地到着年月日	勤務山概要	戦病(受傷)年月日	戦名(受傷部位)
台湾高雄	台湾高雄	台湾高雄警備隊附 虎尾派遣隊	昭和十九年九月十五日入國	海軍 兵 兵長	昭和十九年十月三日 佐世保港	昭和十九年十月十四日 到着 虎尾基地	防空機銃員	昭和二十年十二月十三日 虎尾病院入室	熱帯熱

299

64145

死亡年月日 時刻及場所 昭和二十年十月十九日午後四時五分 死に處る病室ニテ
右申告ス

昭和二十年六月二十日

(公産死於戦場ニテ)
(一階戦時進水兵ニテ)

本籍	現住所	所属部隊	氏名	官等級	入籍番號
		台湾高雄要塞司令部兵隊		海軍上等水兵	

備考

一 本調査ハ部隊長又ハ職務取扱者等英地方復員局人事部長宛通報スベキ中
責任者ニ於テ知得シアラズト認ムルモノミニ付記載ス
二 吳鎮在籍ノ時務士官准士官、下士官兵ニ付記載ス
三 同縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
四 知得セザル範圍ニ於テ出來得ル限り詳細ニ記載ス
五 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各該當欄ニ相手方ヲ記載ス
六 次郎 山口縣民生部 才ニ世該課ニテ記註セリ

299-10

6685

死没者翻書

本籍也

遺族住所

所屬部隊

役種

官等級

勤務概要

受傷年月日

受傷部

受傷病名

受傷死

受傷死

受傷死

右 同

不詳

上水

不明

不明

不明

不明

フニノ性肺炎

東南部宮庭舎ニ收容加療中死亡

兵種

要所

入籍番号

不詳

死時、狀況

昭和二十年十月十九日

訃事

昭和二十年十月十九日。南無成興南道成興麻本宮

遺骨ナシ

遺灰アリ。後日送付ス

左中 告ス

昭和二十年十月十九日

由本籍地

告既郷先

右 用

者所屬部隊

元山特根

隊等級 一水

氏名

[Redacted]

入籍番号

[Redacted]

印

85-10

58457

一、死歿者、官職氏名 申告書

所属部隊名
死歿年月日及場所

死歿状況

海軍三年整備兵曹

兵籍番籍不詳、死時

八整夜三ツ死後、進級補充兵

北台海軍航空隊 新竹本郷隊

昭和二十年十一月三十日 二十時三十分

高雄海軍病院新竹分院(旧)

中央海軍燃料廠附属病院

昭和二十年十一月 中旬 卒熱ノタメ

前記病院入院、熱帯熱マラリヤト

診定、お蔭中ナルニ、友人ハ更ニ

悪性ノ疹、蘇ニ罹患シ居ルニ

拘ハス、之ヲ海軍医官ニ申告セズ

海軍医官側ニ於テ発見セル時ハ

参考事項

今人死之後、遺骨ハ村々本部副官部
ニ提出セラル。今部ニ於テ遺送可能ナリヤ
否ヤ不明ト事ニ早、内一部ハ今省セリ
而テ、小生田住所ハ、故、今郷人
トシテ遺骨遺送ノ責、アタリ、昭和三年
一月廿日、村々祭、今日基隆到、村々入村
有、丁日、米船、丁、〇、船、乗、船、十四日
座、是、島、着、十五日、座、是、島、着、収、納、
途ニ早、今、月、廿、五、日、前、記、遺、族、
手、交、セ、ル、モ、ナ、リ、

11. 12. 13. 14. 15.

五

卷之五

兵 變 舉 兵

卷

破字 科 破字 破字 (破字)

姓名	田中 幸三	出生年月日	昭和二年十二月二十日
氏名	田中 幸三	病名(受傷部位)	左足中趾
氏名	田中 幸三	受傷時(受傷)	昭和二年十二月二十日
所属部隊	陸軍航空隊	現住地	東京市
本籍地	東京市	昭和二年十二月二十日	昭和二年十二月二十日
右申 告 文	昭和二年十二月二十日		

姓名 國二 分 腎 元 一 獲 得 總 領 二月 六 日 通 達
 交付 二 兩 在 此 格 下 之 量 滑 石 通 尿 品 等 在 此 格 下 之
 交付 二 兩 (總 領 月 日 二 月 十 六 日 白 紙)

50393

名

人進獨品

傳若 無錄表、重圖二條、合背正元、一、撰序、後頁、二月三日重
交付、為、甚、如、下、七、意、皆、乃、通、留、品、等、一、存、於、中、部、三
八 交付、了、了、一、讀、圖、月、日、二、日、十、六、日、白、記